

テーマ「島の持続可能な観光のために私たちができること」

題名：「観光客への環境教育で、式根島の自然を未来へ繋ぐ。」

私は式根島における持続可能な観光を実現するべく、観光客への環境教育を提案する。

式根島の最大の魅力は、息をのむほど豊かな緑と、透き渡る美しい海であると考えます。このような豊かな自然資源を持つ式根島に癒しを求め、ダイビングや釣りといったアクティビティを楽しみに訪れる人があとを絶たない。つまり、式根島の観光資源と自然資源は切っても切り離せない関係にあるのだ。

しかし、実際にビーチでフィールドワークを行った際に確認できたのは、無数のプラスチックゴミであった。海洋プラスチックゴミは今後さらに増加すると予想され、景観を損なうだけでなく、ダイバーや釣り客にとっても危険が伴う。また生物多様性の観点からも、見ると幸せに1日を過ごせると式根島で言われているウミガメなどの海洋生物が誤ってゴミを飲み込んでしまうリスクがあり、早急な対策が求められている。

さらに、式根島は東京近郊でサンゴを間近に見ることができる貴重な場所でもある。しかし近年、サンゴの白化が進んでいることが懸念されている。サンゴの死滅には地球温暖化などさまざまな原因が関わっていると言われていたが、その一つに日焼け止めクリームに含まれる成分の影響も指摘されている。実際、ハワイなど一部の地域では、特定の成分が含まれる日焼け止めの使用や購入が制限されている。式根島でも、このようなサンゴを守るためのこうした取り組みは非常に重要だが、その前提として、環境への知識と意識がなければ理解されることがないだろう。これらの問題を解決するための一歩として、環境教育の手段である「式根島グリーンマナー検定」の導入を、観光客向けに提案したい。

観光客に焦点を当てた理由は、その圧倒的な人数にある。現在、式根島の人口は約350人と少ないが、それに対し、年間の観光客数は1万6千人を超えている。式根島の住民の方々にももちろん受けていただくことは可能であるが、環境へのインパクトを左右するのは、やはり数の多い観光客の存在であると考え、観光客向けのものとした。

この「式根島グリーンマナー検定」では、観光客が事前に与えられた質問に回答し、80%以上の正当率によって「エコマスター認定証」を受け取ることができるというものだ。質問内容には、式根島の環境に関する基礎的知識や、ビーチでのマナー、エコフレンドリーな日焼け止めの選び方などが含まれている。また、認定証を持つ観光客には、島内の一部施設で割引や特典を用意し、環境に配慮した行動を奨励することなどが考えられる。

検定を通じて、観光客に式根島の環境への理解を深めてもらい、行動を変えるきっかけを作ることによって式根島の自然保護を促進し、持続的に観光客から愛される環境を作り上げたい。